



推進協だより

光友会事業推進協議会

広報誌

2025年 第1号

(総会号)

梅雨の時期を迎え、紫陽花も咲き誇る季節となりました。

さて、去る5月17日に、例年通り開催されました光友会事業推進協議会（以下推進協と略す）代議員総会で、今年度の事業計画、予算等が可決され、いよいよ2025年度の活動が始まりました。この号では、そのときの模様を中心にお伝えしてまいります。

会員の皆さまへ

会員の皆さまには、日頃よりご協力いただき、ありがとうございます。

最近、混沌とした時代になってきたと感じ、話題のChatGPTに「福祉業界を取り巻く不安や混沌とは何か」と問いかけたところ、「制度疲労と政治の迷走」「人材の枯渇と世代交代の課題」「現場の多忙化と倫理的ジレンマ」「地域の崩壊と孤立の増大」「テクノロジーとの乖離」、そして最後に「それでもなお希望を手放せない人々」と答えてくれました。特に最後の「混沌と不安の中でも、『誰かの役に立ちたい』『地域を良くしたい』と願う人々が確かに存在する。」「バラバラなピースがどこかで繋がり始めるとき、混沌の中から次の福祉の形が見えてくるかもしれない。」という説明が印象に残りました。

以前の企画運営会議で参加されていた皆さまに「推進協とは何か」を問いましたが、改めて考えると、推進協は制度に縛られない柔軟な組織だと思います。これからの推進協の活動が、光友会の永続、利用者や職員の皆さん、そして地域への貢献につながるように尽力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



光友会事業推進協議会 会長 野田 周吾

光友会理事長からのご挨拶

光友会事業推進協議会の代議員総会が去る5月17日（土）に実施されました。振り返って原点に立ち返ってみますと、入所施設の御家族の会を他施設に倣って立ち上げましたが、出発点でした。その後、通所施設も同様に御家族との交流、御協力をお願いして拡大し、一般市民のボランティアにも加わって頂きここまで継続して来ましたが、なかなか御家族にも浸透されにくい状況や、市民会員の方々の高齢化も伴い、現在は停滞をしている状態にあります。

福祉を取り巻く状況は、年々厳しくなり、何とか推進協も再燃させて行きたいと考えています。関係者の皆さまのお知恵をお借りして、何か今後の対策の良き案を頂戴出来ればと考えます。

今後、益々厳しくなる支援費の減少に対して、皆で考えながら良い解決方法を考えて参りましょう。

社会福祉法人 光友会 理事長 五十嵐 紀子

＝今年も代議員総会が一堂に会して開催されました＝



2025年5月17日（土）に、代議員総会が地域交流ホームかわうそで開催されました。出席者32名、委任状による出席者26名 合計議決権総数58名。役員・代議員総数60名の3分の2である40名以上に達しましたので、会則第7条第5項に基づき、代議員総会が適正に成立しました。また、議長に二見氏（推進協副会長）、書記に北村氏（推進協会計）、議事録署名人に立ヶ谷氏（推進協市民部会長）が選出され、議事が進められました。可決されました議案について、概略を以下にご説明します。

第1号議案：2024年度事業報告及び収支決算報告・会計監査報告

[2024年度事業報告]

説明：村井調整役

- 今年度は会員数の拡大に繋がる活動に努め、前年度より20名増加となりました。更なる会員増加を目指して、推進協役員を対象にアンケートを行い、改善案を24項目にまとめ、大きく6つの柱を立てロードマップを作成しました。
- 希望寄席では約520名、チャリティーコンサートでは約650名参加いただきました。
- 研修会を5月18日(土)代議員総会終了後と2月14日(金)の2回開催しました。
- 企画運営会議は、2024年度より地域交流ホームかわうそで一堂に会し8月22日・10月31日・1月30日・3月27日の4回開催しました。出席者全員の発言を意識し、活発に討論されました
- 「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」で、271万円ほどの黄色いレシートが回収され、その1%に相当する27,100円分が、ライフ湘南で使用する器具等として、イオン藤沢店様から贈呈いただきました。
- ふくし村まつり、チャリティーコンサートでは、推進協入会案内を配布し、入会勧誘を行いました。

[2024年度決算報告]

説明：村井調整役

- 会費と寄付金との合計は806,000円となり、昨年より58,000円減少しました。会員数は20名増加したので、会費は12,000円増えましたが、寄付金は70,000円減りました。
- 積立金、繰越金、繰越切手を除く支出は、2023年度に比べて78,914円増加し、277,342円となりました。変化が大きかった項目について、2023年度と比較しますと、フォーラム開催費で49,842円増、印刷代47,553円増、封筒などの事務用品14,440円増、発送費35,779円減等です。
- 寄付金が減り、支出が増え、結果として積立金については2023年度に比べ150,000円少ない550,000円となりました。
- 年度初めで使用する運営資金として、例年とほぼ同額の144,992円を次期繰越金としました。

2024 年度にかかる光友会事業推進協議会に関する関係諸帳簿、証書類を 2025 年 4 月 17 日に監査した結果、適切に処理されていたと会計監査から報告がありました。

<採決> 以上の説明があった後、第 1 号議案に対する採決で、反対はなく、賛成過半数により原案のとおり可決しました。

第 2 号議案：2025 年度事業計画・収支予算

[2025 年度事業計画]

説明：村井調整役

- <基本方針>さまざまな機会を通じて、光友会事業推進協議会の役割を理解してもらうように勤め、光友会五つの輪（利用者・職員・役員・家族・支える市民）が連帯して活動することで、会員拡大を目指す。
- <年度方針>光友会事業推進協議会は、社会福祉法人光友会の基本理念「障害者には、同世代の健全市民と同様の『当たり前』の生活を営む権利」、すなわちあらゆる面での『完全参加と平等』の権利がある。これを保障するためには、全ての面での条件整備が必要である。」に賛同し、「福祉施設にありがちな『隔離と管理』から脱皮するため、職員、利用者、地域住民の意識改革に努めるとともに地域福祉の核機能を果たしてゆく。」という目標を共に推進するために、以下の重点施策に沿って事業を実施する。

また、社会福祉法人光友会が 50 周年を迎えるにあたって、あらためて光友会事業推進協議会の「目的（存在意義）」を関係者と協議及び整理をし、その「目的（存在意義）」を会員に共有したうえで、組織全体の方向性を定める。

- <重点施策>

1. 活動の見える化

- 1-1 企画運営会議は、今年度 4 回の開催（開催日は、7 月 31 日・10 月 31 日・1 月 29 日・3 月 27 日）予定とします。
- 1-2 企画運営会議の議事進行を円滑にするため、事前に四役会（会長・副会長・調整役・相談役）を開催し、議題の提案準備をします。
- 1-3 企画運営会議の議事概要を『推進協だより』にて会員に報告します。
- 1-4 積立金の用途を決めるルール作成を行います。

2. 周知活動；推進協の役割、活動の目的などを理解していただけるように、ホームページ掲載事項の見直しを行うとともに、新パンフレットを作成し、会費・寄付金納付の促進を図ります。

3. 会員特典の検討

4. 会員ターゲット層の拡大；地域イベントへの参加に併せて、パンフレットやチラシを配布し、会員ターゲット層の拡大を図ります。また、SNS での発信を検討します。

5. 会則の見直し；「推進協（すいしんきょう）」という名称がどのような組織か分かりにくいという声に呼応し、推進協の役割、活動目的等について協議及び整理をした上で、「光友会事業推進協議会」という名称の見直しを行います。

6. 文書管理；活動記録の開示要求があった場合に速やかに開示できるように保管ルールを作成し、文書管理を行います。

7. 光友会が企画する各種イベントへの協力；光友会が企画するチャリティー事業（希望寄席、チャリティーコンサート等）の前売り券の販売への協力及び、各イベントの受付等を担当します。

また、昨年度より神奈川ワークショップ（かわうそ農園）で県から指定を受けて取り組んでいるユニバーサ農園のイベントに協力します。イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンの投函の周知、及び使用済み切手の回収を行います。勉強会（研修会）については年間2回開催を企画します。

[収支予算案]

収入については、会員の増加を図ることで27万円程度の収入増を見込みました。

支出については、会員の増加による経常的な推進協運営のための経費の増加を見込み「光友会事業支援積立金」の積み立てを70万円としました。

<採決> 以上の説明があった後、第2号議案に対する採決で、反対はなく、賛成過半数により原案のとおり可決しました。

第3号議案：2025年度役員(案)について

説明：村井調整役

職員部会の部会長を中心に新年度の役員について調整した結果、第3号議案の通りとなりました。主な役員交代については、会計監査を佐藤照夫氏に代わり黒田祥子氏へ、また、光友会法人本部の伊原事務局長に推進協の活動に対するアドバイス等をいただけるよう相談役に就任いただく案となります。職員部会の部会長と代議員についても、一部人事異動による交代があります。なお、家族部会の役員の調整がついていない事業所については今後も継続し調整を行います。

<採決> 以上の説明があった後、第3号議案に対する採決で、反対はなく、賛成過半数により原案のとおり可決しました。

◎ 代議員総会終了後に勉強会を開催しました。

講師 奥田 佳子氏

（光友会藤沢障がい者生活支援センター
かわうそ）社会福祉法人光友会
相談支援・地域医療部 課長

テーマ 「障がいのある方が住み慣れた地域で安心して暮らすためのフォーラム」を振り返って



2025年2月14日に開催されました上記フォーラムの内容を、相談支援の立場から振り返りをさせていただきました。

推進協だより 2025年度第1号（総会号）

（光友会事業推進協議会 HP <https://www.lfa.jp/about/business-promotion/>）

発行日 2025年6月20日

発行者 光友会事業推進協議会 会長 野田周吾

発行所 〒252-0825 藤沢市瀬郷 1008-1

社会福祉法人 光友会 内 光友会事業推進協議会

電話 0466-48-1500



HPはこちら